

| | | | | | | |
|---------------|--|-----|--|----------|--|--------------|
| 科目名 | 情報 I | 単位数 | 2 | 学科・学年・学級 | 森林環境科 普通科 | 1年1組 1年2組 |
| 学習の到達目標 | <p>1 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深める。</p> <p>2 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p> | | | 教科書・副教材等 | 最新情報 I (実教出版) 最新情報 I 学習ノート (実教出版) | |
| 評 価 | | | | | | |
| 観 点 | 評 価 規 準 | | | | 方 法 | |
| 知識・技能 | 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート ・製作された作品 | |
| 思考・判断・表現 | 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・定期考査 ・製作された作品 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・毎時間の取組状況 ・実習への取組状況 | |
| 学 習 計 画 | | | | | | |
| | 学 習 内 容 | | 学 習 の ね ら い | | | 考査 |
| 1 学 期 | <p>オリエンテーション 第1章 情報社会と私たち</p> <p>第2章 メディアと情報デザイン</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の現状、特性、及び情報モラルと情報化が個人に及ぼす影響について理解する。 ・知的財産権、著作物、個人情報、プライバシーについて理解する。 ・様々な情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。 ・メディアの特性を理解し、目的に応じたメディアを選択するとともに、インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 ・情報を正確にわかりやすく伝える情報デザインについて理解する。 | | | 期末 |
| 2 学 期 | <p>第3章 システムとデジタル化</p> <p>第4章 ネットワークとセキュリティ</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成と動作の仕組み、ソフトウェアの種類とインターフェースについて理解する。 ・コンピュータの演算の仕組みを理解し、数値や文字、音声、静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 ・情報通信ネットワークの構成、データを効率よく転送する工夫について理解する。 ・情報セキュリティを確保する方法と技術、情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 | | | 期末 |
| 3 学 期 | <p>第5章 問題解決とその方法</p> <p>第6章 アルゴリズムとプログラミング</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見、明確化、検討・整理・分析、解決案の決定、評価する方法について理解する。 ・表計算ソフトを用いたデータの分析方法やその活用方法について理解する。 ・モデル化する手順と方法を理解し、問題解決のためにシミュレーションを活用する。 ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。 | | | 学年末 |